

赤面山

M・T

期 日：9月7日 曇り時々晴れ

コース：自宅4：11→白川高原スキー場跡地7：45～55→リフト跡8：53→第二リフト9：52→赤面山登山道入り口9：58→赤面山11：05～25→前岳12：00～30→中の大倉尾根赤面山分岐13：08→中大倉山13：59→北温泉駐車場15：20

参加者：M・T

報 告：



福島県の白川高原スキー場跡地（旧赤面山スキー場）から登り始める。囲いがして有り車は入れない。屈んで中に入り、廃墟となった建物を見つけ、登山口への道で有ることを確認出来た。赤面山山開きの日には大きな駐車場に車も入れるらしい。ガラスは割れ怪しげな雰囲気漂いミステリーゾーンを思わせる。事前の調べで観た建物です。



廃墟の左側から歩き始めると、直ぐに立ち入り禁止の看板。後ろめたさが起きる。

悩みながら歩くと1分程でこの看板。

歩いて良いのだ。

鈴を鳴らし、賑やかに笛を吹いて「お邪魔します」と熊さんにご挨拶。



道路側から撮るのを忘れたが、ススキの向こうの白っぽい横線が囲いです。

朝方迄降り続けた雨の為にススキは雨に打たれて穂を垂れている。この先、暫くは背丈より高い濡れ薄を両手でかき分けながら進む。



晴天を期待して来たが、少し残念。

赤土の滑りやすい道

この先ゴーロの道が続いた。



リフト乗り場跡地



壊れた器材の一部が登山道脇に有った。

振り返って見ると、大きな船が横たわっているように見えた。



相変わらず石ころの道です。

先程のリフト乗り場から7分で第二リフト到着。



細い流れに鉄板が敷いて有りました。



第二リフトの下を通過します。(振り返って)



道はまだこんな感じです。

時々、笛を吹くのを忘れてはいけません。勿論、鈴は歩くたびに出来るだけ大きな音が出るように考えながら進んできました。

山行日前日に赤面山で熊遭遇のユーチューブ動画を見た為に用心深くなっています。



少年自然の家分岐。
YMAP の表示地点よりかなり前に有った。

リフト最終地点。歩き始めて2時間近くゲレンデ跡地を歩いた事に成る。(私の歩きは遅いです)



ここからはスキー場跡地を離れる。



ブナ林の中の登山道になりました。



8合目到着



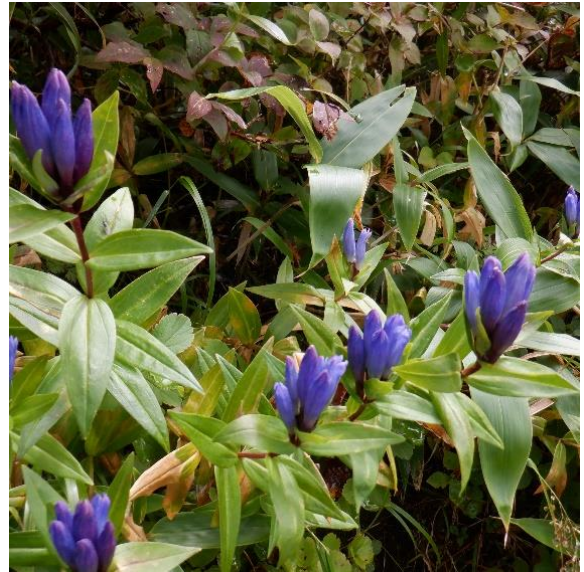
足跡がカモシカなら良いのにと期待する



山頂近くはシャクナゲの木が多かった。



登山道沿い沢山のリンドウが咲いていた。



山頂です。三角点・山名案内板が有りました。



山名表示板が有ると山座同定が出来るので嬉しいのですが生憎のお天気です。

暫く遊んでガスの切れ間を待つ事にします。

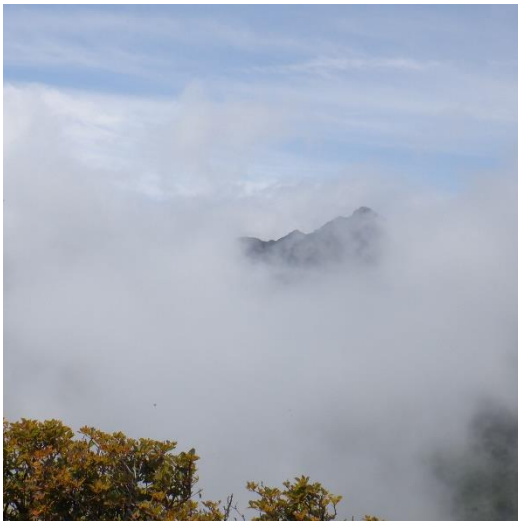


走りましたが、セルフタイマーに間に合わず!

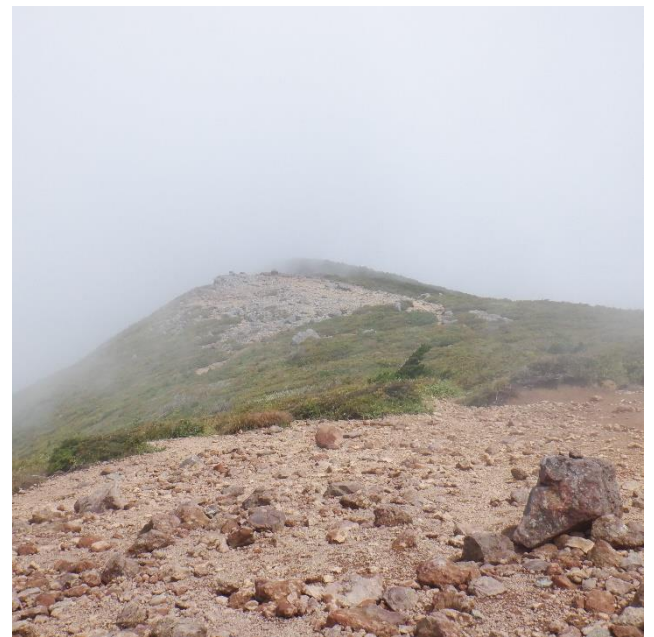
再チャレンジ。どうにかできました。



20分ほど待ちましたが、朝日岳がぼんやり見えただけでした。



歩いて来た道を振り返って



前岳を目指し清水平方面に向かいます。
標高差50m程下り同じ位登り返します。



前岳から中の大倉尾根方面を写す。
前岳と思われるピークには山頂標識見当たらず。

笹が刈られています。滑りやすいので注意しながら歩きます。



中の大倉尾根迄のルートがはっきり目視出来ました。



赤面山を振り返って



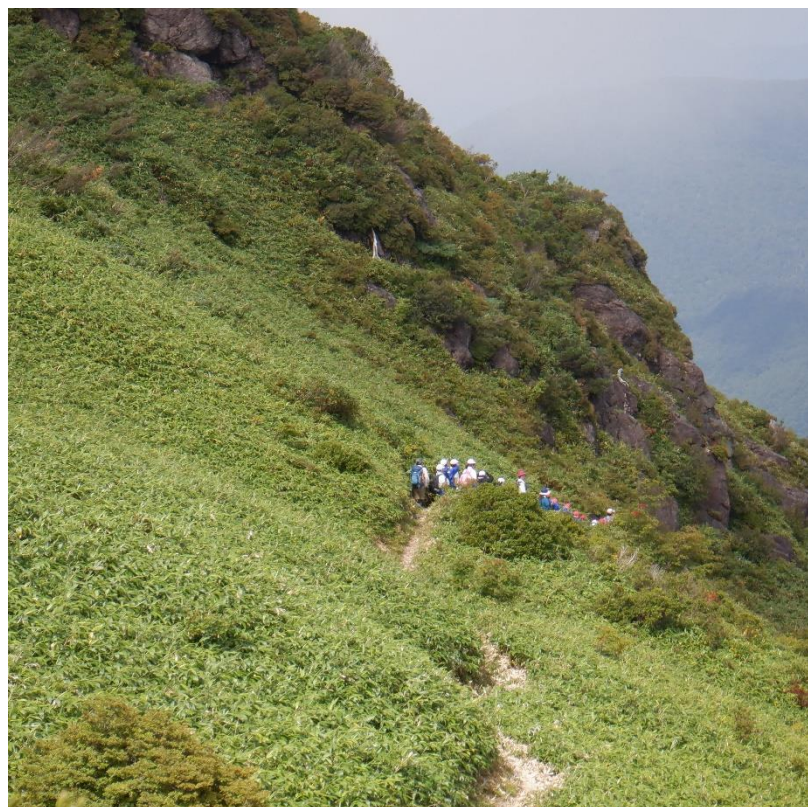


この辺りは安全な登山道です。この先幅50センチぐらいの登山道になります。山肌に付けられた登山道は人ひとりが慎重に歩かなければ滑落の危険のある道となりました。注意しながら歩いていると、一番狭い登山道で50人以上の小学生とすれ違うことに成りました。山側の笹につかまり傾いた体で必至に踏ん張りすれ違ってもらいました。すれ違う子供は谷側なので、落ちないかハラハラです。笹が茂っているので落ちると思っていないようです。白川第一小学校5年生です。いくつかのグループに別れて来るので、その度に笹につかまり踏ん張ってすれ違いをしました。



中の大倉尾根との合流地点につきました。この標識を見る度に気になっていた赤面山です。ここからは歩きなれた道。北温泉を目指します。

中の大倉尾根から、先程すれ違った小学生達が見えました。「何処から来たの?」と訊ねたら、後ろを指さしてあっちと答えたかわいい子供達でした。中の大倉尾根は先ほどすれ違った登山道とほぼ並行です。



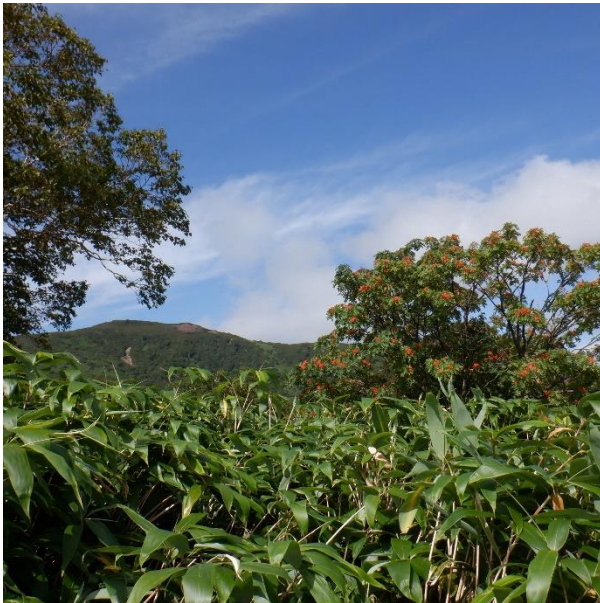


中の大倉尾根から赤面山を撮る。

反対側は頭が雲に隠れた茶臼岳



今日一番の青空にナナカマドの赤い実が綺麗。



のんびりゆったり歩きます。



6月に満開のシロヤシオを楽しんだ場所にきました。



中大倉山1417mに到着。
マウントジーンズスキー場と北温泉の分岐
です。

北湯迄2キロと有ります。



シモバシラの花

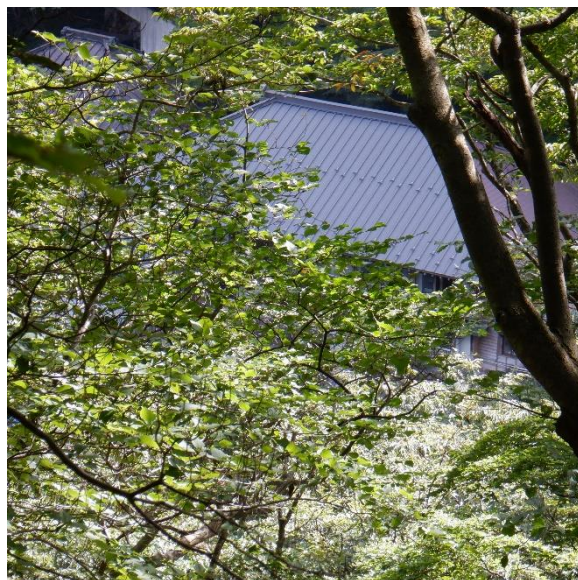
最初は穏やかな道です。





北温泉近くは急な階段で落石注意の看板が沢山ありました。

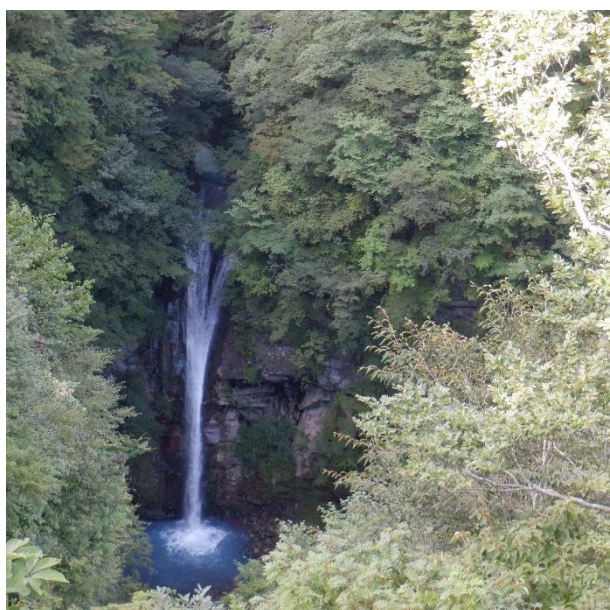
北温泉の屋根が見えます。



余笹川にかかる橋を渡ると北温泉です。



建物を取ったのですが、露天にいらした方ごめんなさい。



駐車場までの400mの登りがきつかったです。
駐車場奥の観瀑台から見た駒止の滝です。